

答案記述を行ううえでの留意点

TSコンサルタントグループ

ここでは、答案記述を行ううえでの留意点について簡単に記述します。

- ①課題解決策はその技術の動向を把握し将来を展望する
 - ・技術の進歩はめざましく、特に近年の高度情報化社会にあっては、技術は数年で陳腐化することに留意する。
 - ・社会動向や経済成長によっても技術は左右され、顧客ニーズに沿った技術開発が望まれることにも留意する。
- ②技術士としてふさわしい点を明確にする
 - ・論文で最も述べたいことは何か、アピールできる点は何かを検討する。
 - ・自分の業務経験との関連で何が技術士としてふさわしいか考える。
- ③技術的な文献としての価値の有無を確認
 - ・プロの論文として報酬がいただけるか。
 - ・数値を用いて具体的な説明をする。(特に結果や効果)
 - ・抽象的な表現(大きい／小さい、高い／低いなど)は避ける。
- ④内容の濃い論文とする
 - ・限られた字数の中で、いかに多くの内容を表現しているかを確認する。
 - ・広く内容が浅い論文では、不十分。問題点と解決方法は深く掘り下げる。
- ⑤書きたい(伝えたい)ことが、全て書いているか
 - ・書き表したいことが全て表現出来ても、一読で何割理解されるかを考える。
 - ・一般に十分な推敲を重ねた論文でも8割程度しか理解されない。
つまり、表現したいことが8割しかできていないと、読者はその8割も理解できない。これは $8 \times 8 = 64$ 点以下となり、ボーダーラインとなる。
- ⑥読者が興味を示してくれる内容か
 - ・技術レベルの高さ、斬新さ、オリジナリティ、発想方法はよいか。
 - ・表題も工夫しアピールする。
- ⑦読みやすさ見やすさ
 - ・短文(原則3行以内)で1センテンスずつ呑み込んで(理解して)いるか。
 - ・項目を細分化して整理する。
 - ・句読点、改行、適度な空白も考える。
- ⑧一読して理解される内容か
 - ・読みやすい工夫を行うこと。
 - ・図・表・数式の活用と配置(図表は一目で表現できる。必須・専門論文でも図表があると引き立つ)
- ⑨問題点を明確にすること
 - ・真の問題点を見つけ出し書き表す。
 - ・広く浅い漫然とした論文は冗長的になりやすい。一点を深く技術的に捉えること。
 - ・問題点を読者に訴え(投げかけ)、それに対しての自分の解法を述べる。
- ⑩完稿した論文とする
 - ・未完成論文では合格しない。
 - ・図表については細部まで芸術的に書く必要はないが、ポイントは強調すること。